

## IV 基本理念と基本方針

## 1 基本理念

三重県は、「三重県子ども条例」に基づき、子どもが、安心して生きることができ、虐待やいじめそしてあらゆる暴力や差別から守られ、自らの力を発揮して成長でき、そして思いや意見が尊重されることにより、一人ひとりが人として大切にされ、豊かに育つことができる地域社会づくりをめざしています。

子どもの貧困対策においては、「三重県子ども条例」の基本理念（※）の通り、生まれ育った家庭の経済状況にかかわらず、三重の子どもたちが、必要に応じた教育支援、生活支援、親への就労支援等によって、夢と希望を持って健やかに成長できる環境整備が図られている状況をめざします。

※「三重県子ども条例」の基本理念（第3条）

- ◆子どもを権利の主体として尊重すること。
- ◆子どもの最善の利益を尊重すること。
- ◆子どもの力を信頼すること。

## 2 基本方針

## (1) 子どもに視点を置いた切れ目ない施策の実施

第一に子どもに視点を置いて、子どもを権利の主体としてその生活や成長を保障する観点から、既存の子ども関連施策を基本に、その成長過程に応じた必要な施策を切れ目なく実施するよう配慮します。

## (2) 子どもの貧困の実態をふまえた対策の推進

子どもの貧困の実態は見えにくく、とらえづらいつとされています。子どもの貧困の実態を的確に把握し、その実態をふまえた対策を推進します。

## (3) 教育における総合的な対策の推進と機会均等の保障

学校を貧困対策のプラットフォーム（※）と位置づけ、家庭の経済状況に関わらず、全ての子どもが質の高い教育を受けることを保障するとともに、福祉関係機関等と連携した貧困の状況にある子どもたちへの支援に取り組みます。

※学校を貧困対策のプラットフォーム：国の大綱において、用いられているキーワード。ここでは、学校を核として、さまざまな関係者や専門家がつながり、子どもたちを多面的にサポートするとの趣旨で用いている。

## (4) 保護者に対する支援

子どもが経済面だけでなく、心身共に安心して生活し学べる環境が整うよう、保護者自らが、自己の課題に主体的に取り組み、その生活が安定するよう支援します。

## (5) 緊急度の高い世帯への配慮

生活保護世帯の子ども、ひとり親世帯の子ども及び児童養護施設等に入所している子どもなど、生活困窮の懸念や緊急度に応じて、重点的に教育、就労及び生活等の各種支援を講じるよう配慮します。